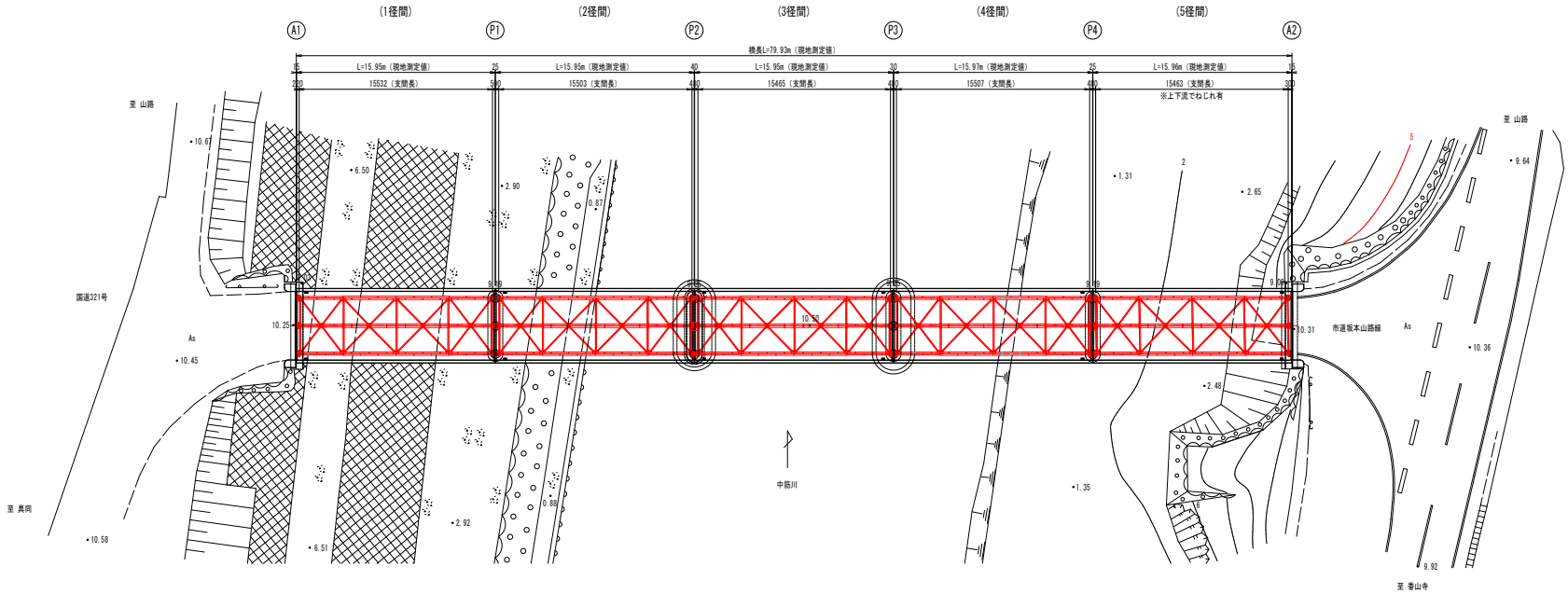
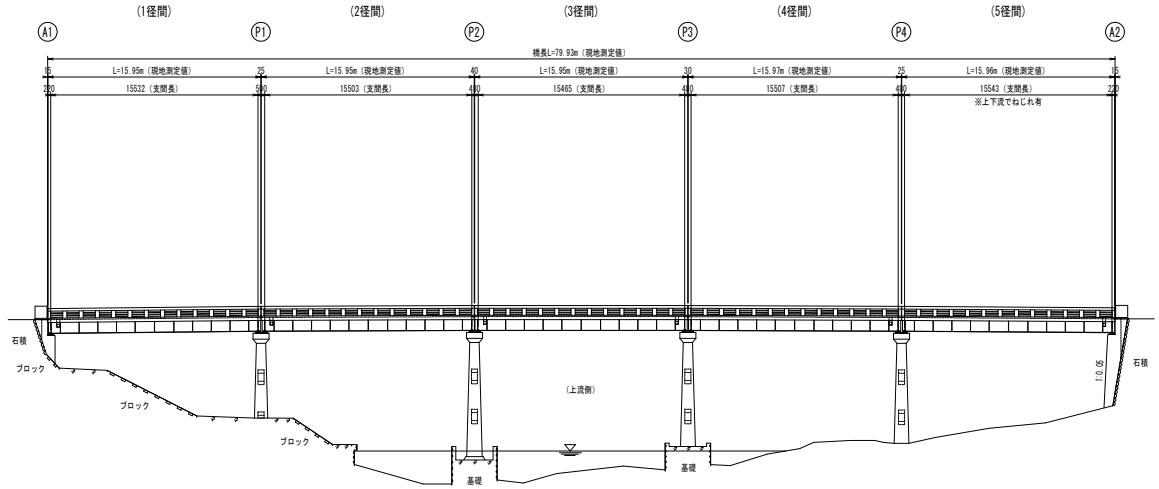
坂本橋：橋梁一般図(1)

（高知県 四万十市 不破）

平面図 S=1:200



側面図 S=1:200



橋梁緒元（橋梁台帳より）

橋名		坂本橋
路線名		市道坂本山路線
活荷重・等級		—
架設年月		1955年3月
橋長		79.93m（現地測定値）
桁長		I桁：15.90m（現地測定値）
支間長		15.50m（現地平均推定値）
幅員	有効幅員	5.50m（現地測定値）
	全幅	6.00m（現地測定値）
斜角		—
型式	上部工	I桁（合成）
	下部工	A1・A2橋台　逆T式橋台
		橋脚　その他（橋脚）
適用示方書		昭和14年

※橋長、桁長、支間長等、寸法は現地測定値

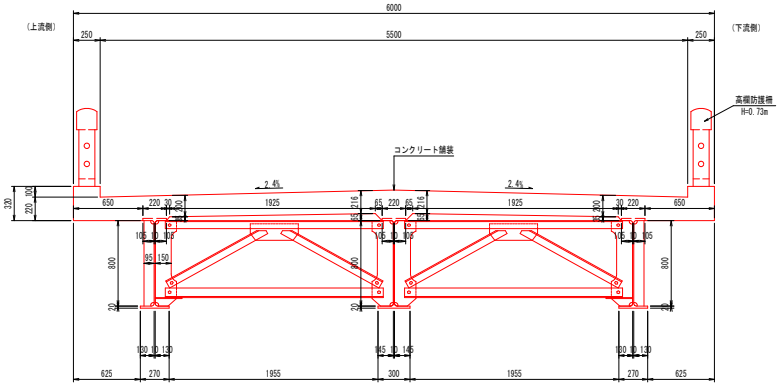
[坂本橋]

四万十市			
工事種別	令和7年度　道メンテ　第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	橋梁一般図(1)	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破　地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	1
事務所名	四万十市		20
会社名			

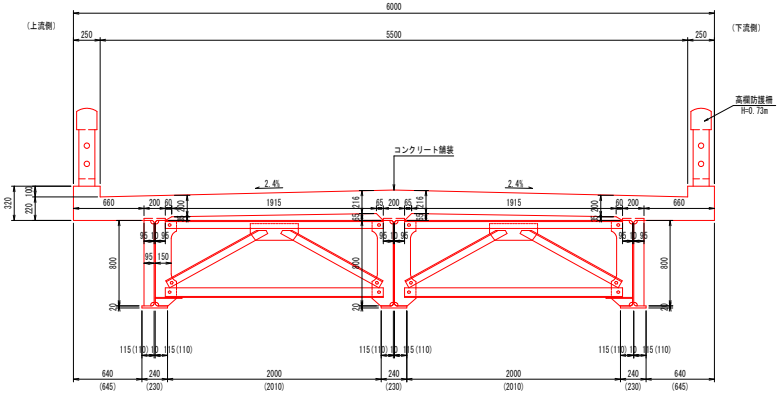
坂本橋：橋梁一般図(2)

（高知県 四万十市 不破）

断面図 S=1:25
（桁中央部）



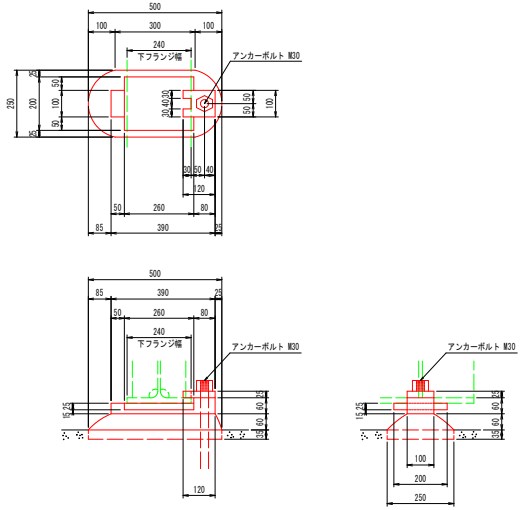
断面図 S=1:25
（桁端部）



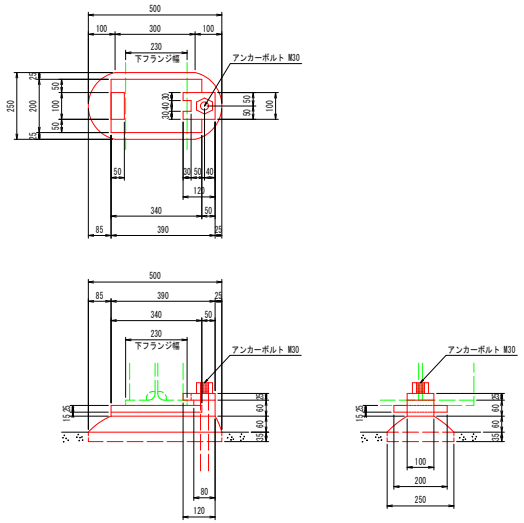
※( ) 数値：固定側桁端部

支承詳細図 S=1:10

可動側
(A1,P1～P4)



固定側
(A2,P1～P4)



橋梁緒元（橋梁台帳より）

橋　　名		坂本橋
路 線 名		市道坂本山路線
活荷重・等級		—
架 設 年 月		1955年3月
橋　　長		79.93m（現地測定値）
桁　　長		I桁：15.90m（現地測定値）
支 間 長		15.50m（現地平均推定値）
幅員	有効幅員	5.50m（現地測定値）
	全　幅	6.00m（現地測定値）
斜　　角		—
型式	上部工	I桁（合成）
	下部工	A1・A2橋台　逆T式橋台
		橋脚　その他（橋脚）
適用示方書		昭和14年

※橋長、桁長、支間長等、寸法は現地測定値
［坂本橋］

四　万　十　市			
工事種別	令和7年度　道メンテ　第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	橋梁一般図(2)	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破　地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	2
事務所名	四万十市		20
会社名			

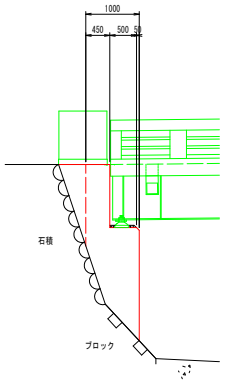
坂本橋：橋梁一般図(3)

（高知県 四万十市 不破）

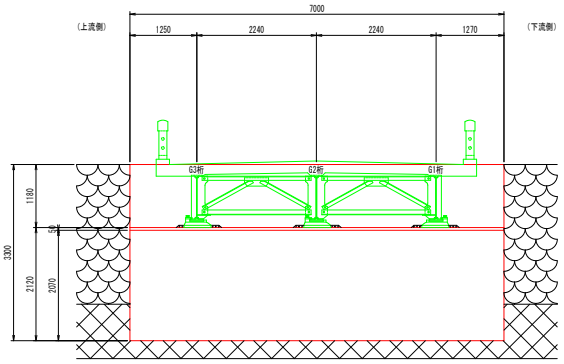
A1橋台 S=1:50

平面図

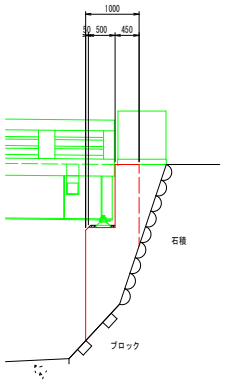
側面図（上流側）



正面図



側面図（下流側）



橋梁緒元（橋梁台帳より）

橋名		坂本橋
路線名		市道坂本山路線
活荷重・等級		—
架設年月		1955年3月
橋長		79.93m（現地測定値）
桁長		I桁：15.90m（現地測定値）
支間長		15.50m（現地平均推定値）
幅員	有効幅員	5.50m（現地測定値）
	全幅	6.00m（現地測定値）
斜角		—
型式	上部工	I桁（合成）
	下部工	A1・A2橋台 逆T式橋台
		橋脚 その他（橋脚）
適用示方書		昭和14年

※橋長、桁長、支間長等、寸法は現地測定値

[坂本橋]

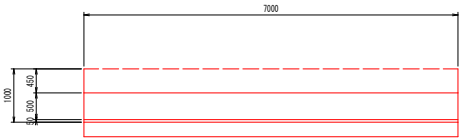
四万十市			
工事種別	令和7年度 道メンテ 第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	橋梁一般図(3)	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破 地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	3
事務所名	四万十市		20
会社名			

坂本橋：橋梁一般図(4)

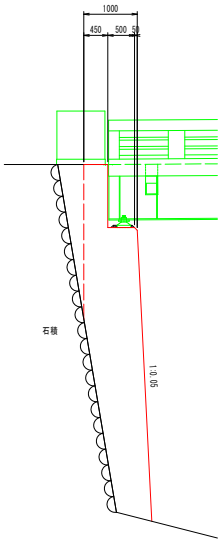
（高知県 四万十市 不破）

A2橋台 S=1:50

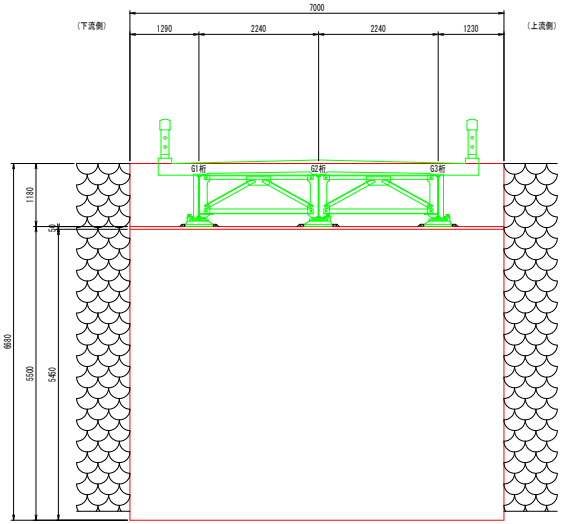
平面図



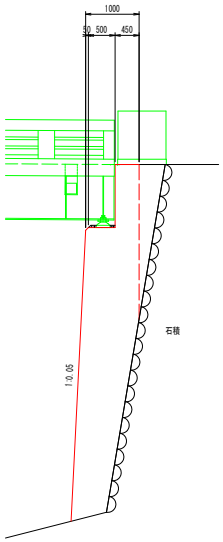
側面図（下流側）



正面図



側面図（上流側）



橋梁緒元（橋梁台帳より）

橋名		坂本橋
路線名		市道坂本山路線
活荷重・等級		—
架設年月		1955年3月
橋長		79.93m（現地測定値）
桁長		I桁：15.90m（現地測定値）
支間長		15.50m（現地平均推定値）
幅員	有効幅員	5.50m（現地測定値）
	全幅	6.00m（現地測定値）
斜角		—
型式	上部工	I桁（合成）
	下部工	A1・A2橋台　逆T式橋台
		橋脚　その他（橋脚）
適用示方書		昭和14年

※橋長、桁長、支間長等、寸法は現地測定値

[坂本橋]

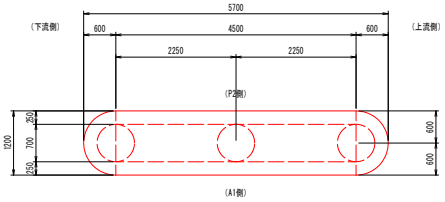
四万十市			
工事種別	令和7年度 道メンテ 第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	橋梁一般図(4)	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破 地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	4
事務所名	四万十市		20
会社名			

坂本橋：橋梁一般図(5)

（高知県 四万十市 不破）

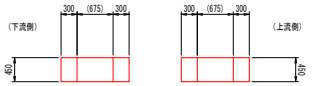
P1橋脚 S=1:50

平面図

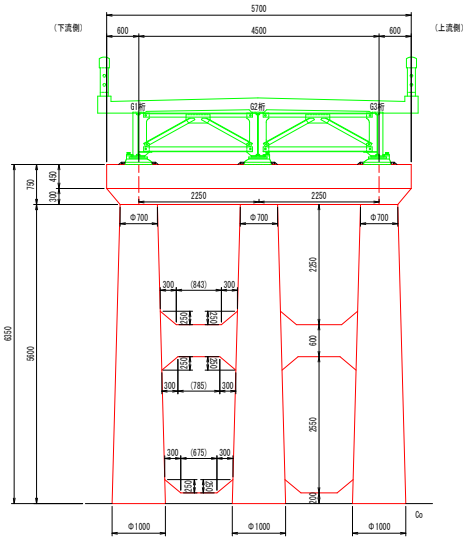


平面図（上段梁）

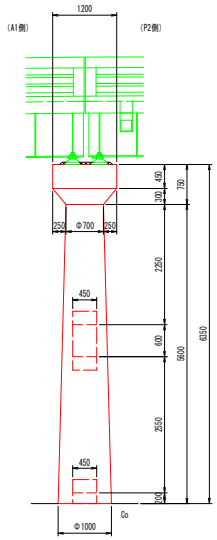
平面図（下段梁）



正面図（A1側）



側面図（上流側）



橋梁緒元（橋梁台帳より）

橋名		坂本橋
路線名		市道坂本山路線
活荷重・等級		—
架設年月		1955年3月
橋長		79.93m（現地測定値）
桁長		I桁：15.90m（現地測定値）
支間長		15.50m（現地平均推定値）
幅員	有効幅員	5.50m（現地測定値）
	全幅	6.00m（現地測定値）
斜角		—
型式	上部工	I桁（合成）
	下部工	A1・A2橋台　逆T式橋台
		橋脚　その他（橋脚）
適用示方書		昭和14年

※橋長、桁長、支間長等、寸法は現地測定値

[坂本橋]

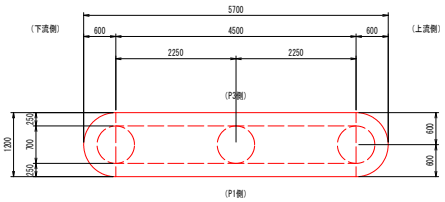
四万十市			
工事種別	令和7年度 道メンテ 第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	橋梁一般図(5)	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破 地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	5
事務所名	四万十市		20
会社名			

坂本橋：橋梁一般図(6)

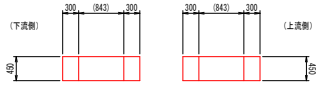
（高知県 四万十市 不破）

P2橋脚 S=1:50

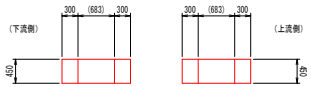
平面図



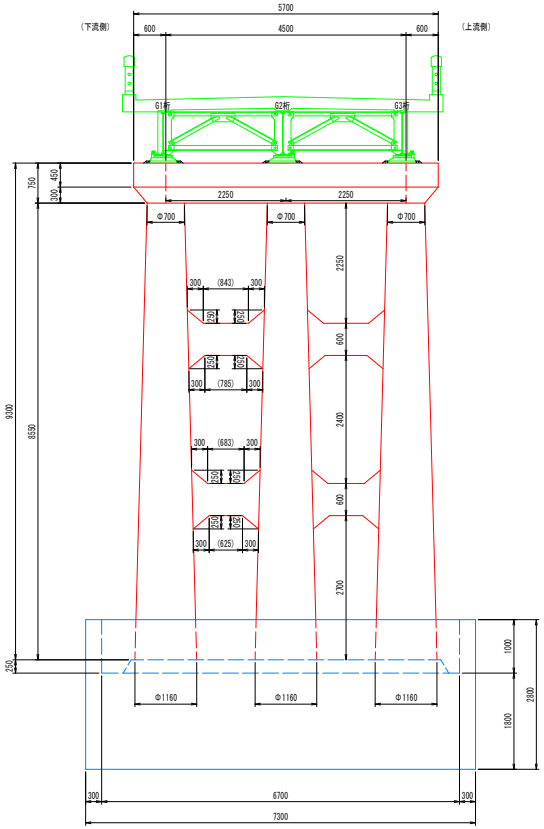
平面図（上段梁）



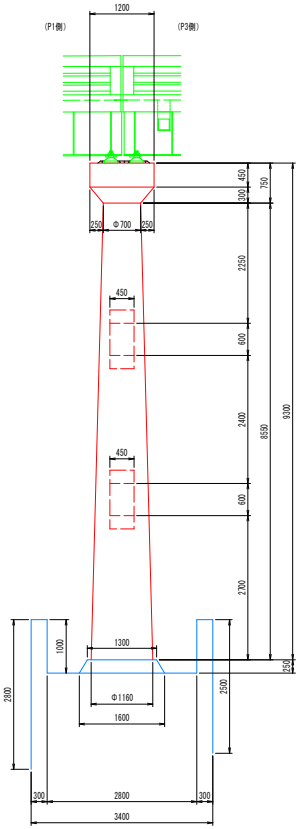
平面図（下段梁）



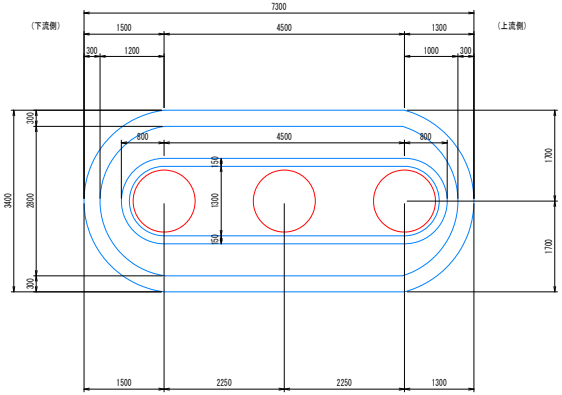
正面図（P1側）



側面図（上流側）



平面図（P2基礎）



橋梁緒元（橋梁台帳より）

橋　　名		坂本橋
路 線 名		市道坂本山路線
活荷重・等級		—
架 設 年 月		1955年3月
橋　　長		79.93m（現地測定値）
桁　　長		I桁：15.90m（現地測定値）
支 間 長		15.50m（現地平均推定値）
幅員	有効幅員	5.50m（現地測定値）
	全　幅	6.00m（現地測定値）
斜　　角		—
型式	上部工	I桁（合成）
	下部工	A1・A2橋台　逆T式橋台
		橋脚　その他（橋脚）
適用示方書		昭和14年

※橋長、桁長、支間長等、寸法は現地測定値

[坂本橋]

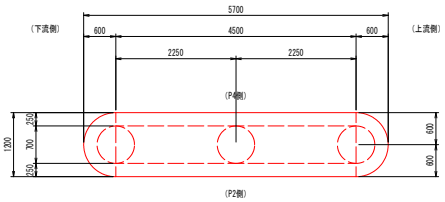
四 万 十 市			
工事種別	令和7年度　道メンテ　第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	橋梁一般図(6)	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破　地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	6
事務所名	四万十市		20
会社名			

坂本橋：橋梁一般図(7)

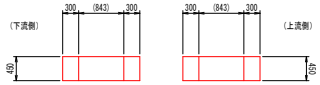
（高知県 四万十市 不破）

P3橋脚 S=1:50

平面図

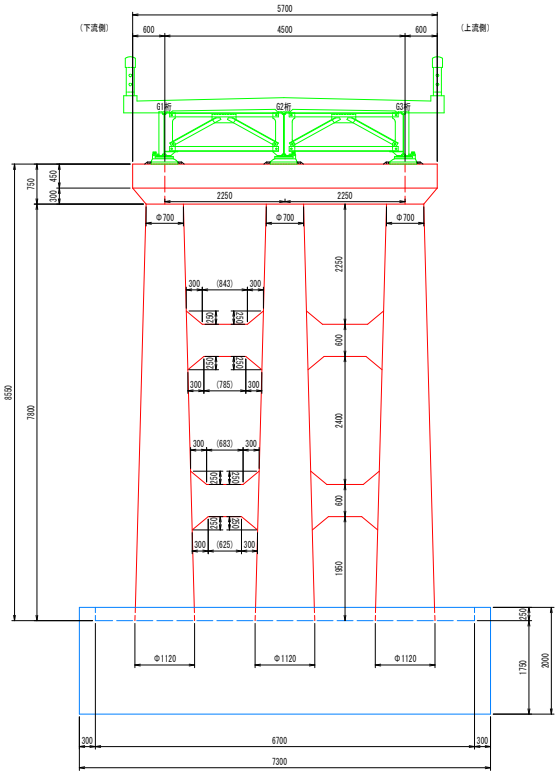


平面図（上段梁）

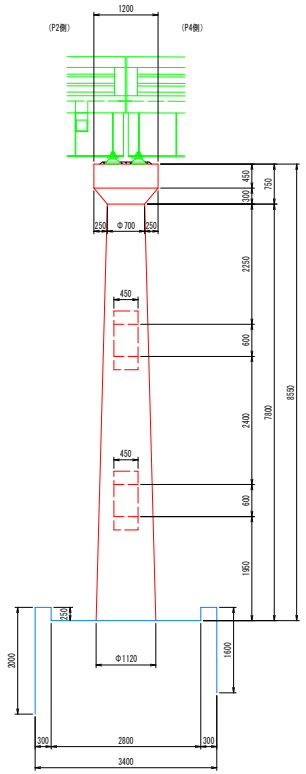


平面図（下段梁）

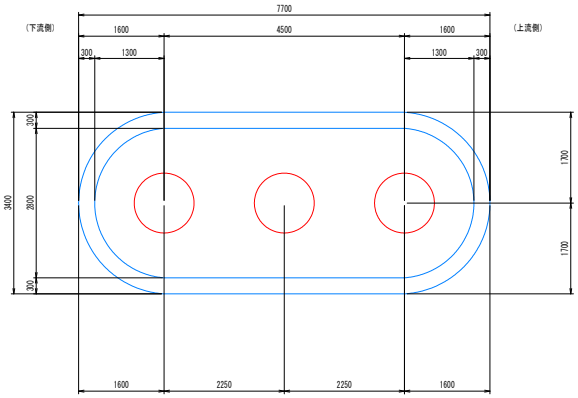
正面図（P2側）



側面図（上流側）



平面図（P3基礎）



橋梁緒元（橋梁台帳より）

橋　　名		坂本橋
路 線 名		市道坂本山路線
活荷重・等級		—
架 設 年 月		1955年3月
橋　　長		79.93m（現地測定値）
桁　　長		I桁：15.90m（現地測定値）
支 間 長		15.50m（現地平均推定値）
幅員	有効幅員	5.50m（現地測定値）
	全　幅	6.00m（現地測定値）
斜　　角		—
型式	上部工	I桁（合成）
	下部工	A1・A2橋台　逆T式橋台
		橋脚　その他（橋脚）
適用示方書		昭和14年

※橋長、桁長、支間長等、寸法は現地測定値

[坂本橋]

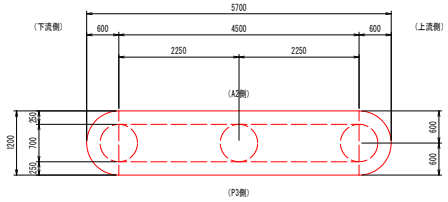
四　万　十　市			
工事種別	令和7年度　道メンテ　第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	橋梁一般図(7)	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破　地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	7
事務所名	四万十市		20
会社名			

坂本橋：橋梁一般図(8)

（高知県 四万十市 不破）

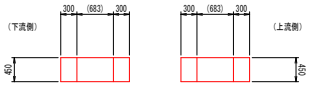
P4橋脚 S=1:50

平面図

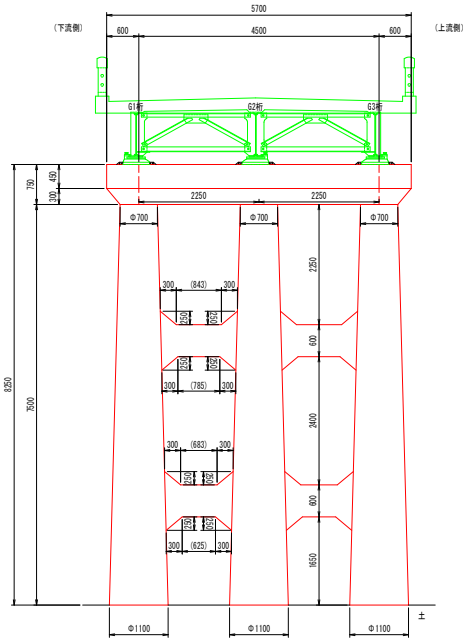


平面図（上段梁）

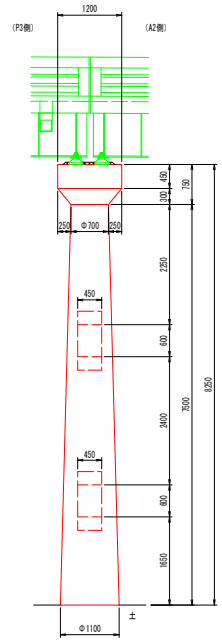
平面図（下段梁）



正面図（P3側）



側面図（上流側）



橋梁緒元（橋梁台帳より）

橋名		坂本橋
路線名		市道坂本山路線
活荷重・等級		—
架設年月		1955年3月
橋長		79.93m（現地測定値）
桁長		I桁：15.90m（現地測定値）
支間長		15.50m（現地平均推定値）
幅員	有効幅員	5.50m（現地測定値）
	全幅	6.00m（現地測定値）
斜角		—
型式	上部工	I桁（合成）
	下部工	A1・A2橋台　逆T式橋台
		橋脚　その他（橋脚）
適用示方書		昭和14年

※橋長、桁長、支間長等、寸法は現地測定値

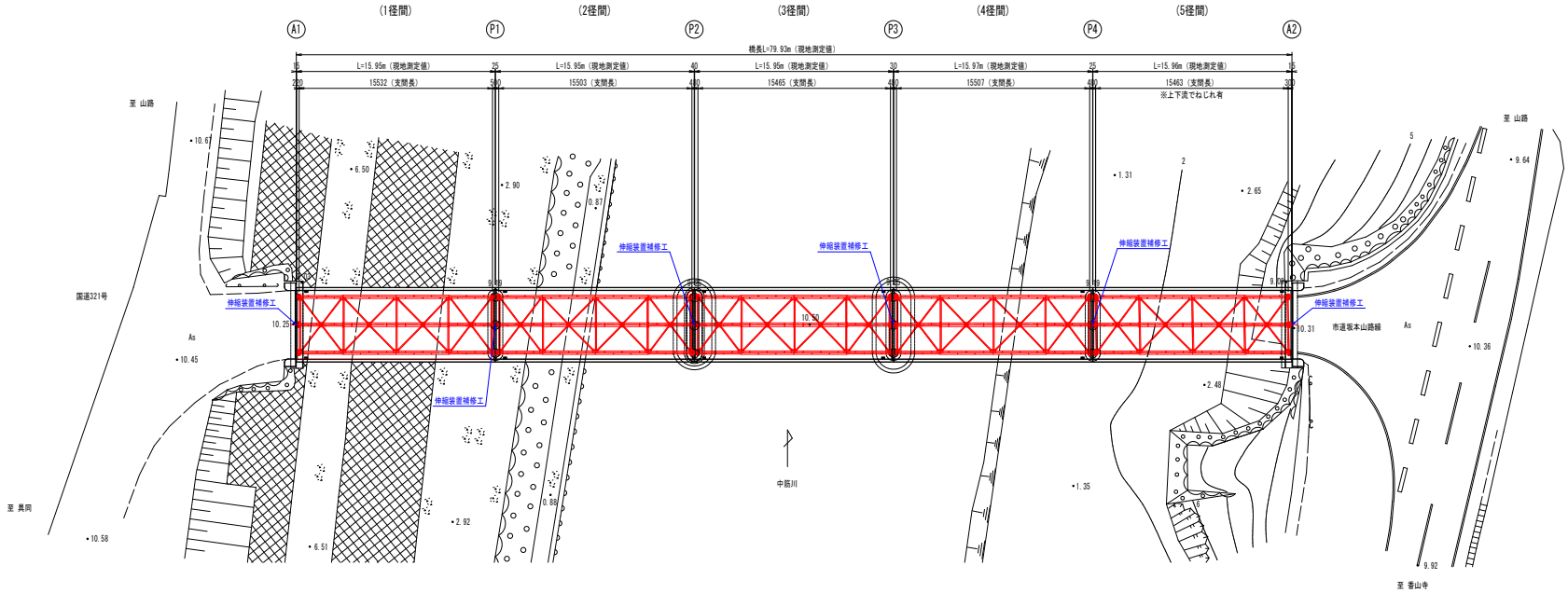
[坂本橋]

四万十市			
工事種別	令和7年度 道メンテ 第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	市道坂本山路線（坂本橋）	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破 地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	8
事務所名	四万十市		20
会社名			

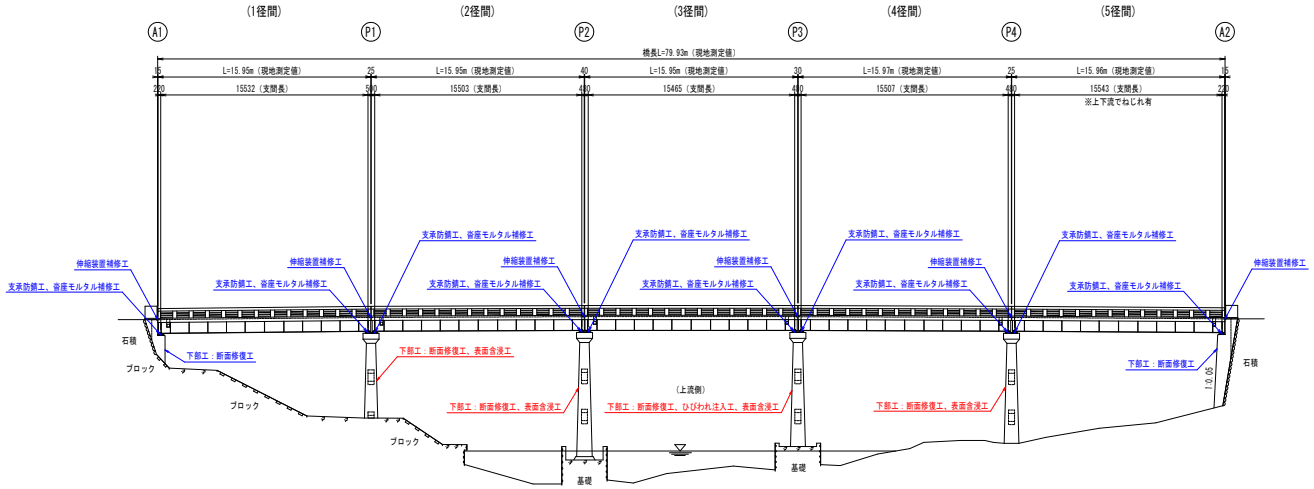
坂本橋：補修一般図(1)

（高知県 四万十市 不破）

平面図 S=1:200



側面図 S=1:200



今回施工箇所
施工済み箇所

橋梁緒元（橋梁台帳より）

橋名		坂本橋
路線名		市道坂本山路線
活荷重・等級		—
架設年月		1955年3月
橋長		79.93m（現地測定値）
桁長		I桁：15.90m（現地測定値）
支間長		15.50m（現地平均推定値）
幅員	有効幅員	5.50m（現地測定値）
	全幅	6.00m（現地測定値）
斜角		—
型式	上部工	I桁（合成）
	下部工	A1・A2橋台 逆T式橋台
		橋脚 その他（橋脚）
適用示方書		昭和14年

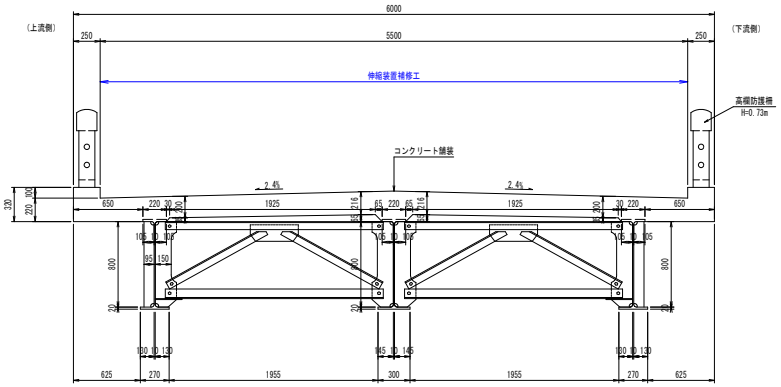
※橋長、桁長、支間長等、寸法は現地測定値
[坂本橋]

四万十市			
工事種別	令和7年度 道メンテ 第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	補修一般図(1)	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破 地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	9
事務所名	四万十市		20
会社名			

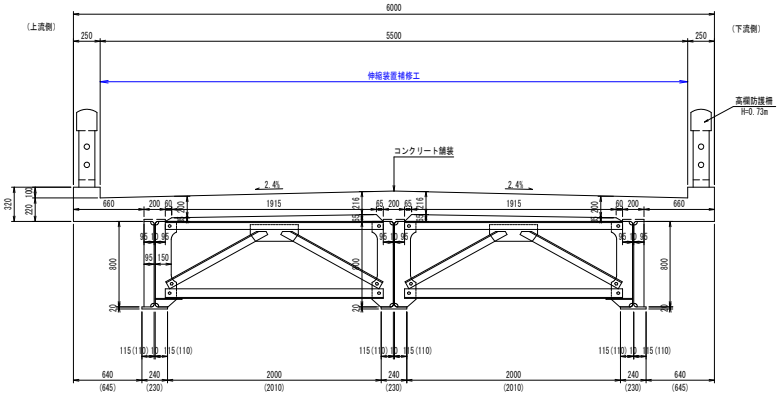
坂本橋：補修一般図(2)

（高知県 四万十市 不破）

断面図 S=1:25
（桁中央部）

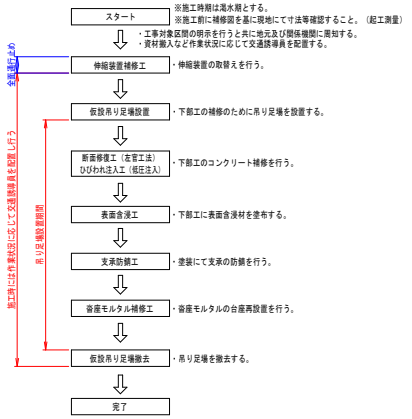


断面図 S=1:25
（桁端部）



※（ ）数値：固定側桁端部

［ 作業フロー ］



補修工一覧

部位		損傷内容	補修項目
下部工	橋台、橋脚	剥離・鉄筋露出、うき、ジャンカ 亀の甲状ひびわれ、遊離石灰	断面修復工（左官工法：ポリマーセメントモルタル）
	橋脚	ひびわれ	ひびわれ注入工（低圧注入工法：エポキシ樹脂注入材3種）
	橋脚	中性化、塩害	表面含浸工（けい酸塩系表面含浸材）
	支承	腐食	支承防錆工（塗装）
	支承台座	割れ、うき、欠損	沓座モルタル補修工（無収縮モルタル充填）
橋面	伸縮継手	漏水	伸縮装置補修工（伸縮装置の取替え）

今回施工箇所
施工済み箇所

橋梁緒元（橋梁台帳より）

橋名		坂本橋	
路線名		市道坂本山路線	
活荷重・等級		—	
架設年月		1955年3月	
橋長		79.93m（現地測定値）	
桁長		I桁：15.90m（現地測定値）	
支間長		15.50m（現地平均推定値）	
幅員	有効幅員	5.50m（現地測定値）	
	全幅	6.00m（現地測定値）	
斜角		—	
型式	上部工	I桁（合成）	
	下部工	A1・A2橋台	逆T式橋台
		橋脚	その他（橋脚）
適用示方書		昭和14年	

※橋長、桁長、支間長等、寸法は現地測定値
［坂本橋］

四万十市			
工事種別	令和7年度 道メンテ 第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	補修一般図(2)	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破 地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	10
事務所名	四万十市		20
会社名			

補修図：下部工（その2）

［断面修復工］

P1橋脚　S=1:50

上部梁（上面）

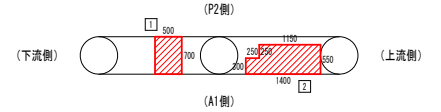
（P2側）

（下流側）　（上流側）

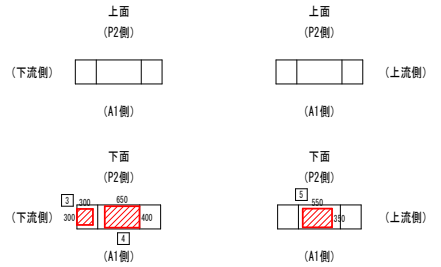
（A1側）

上部梁（下面）

（P2側）



中間梁（上段）

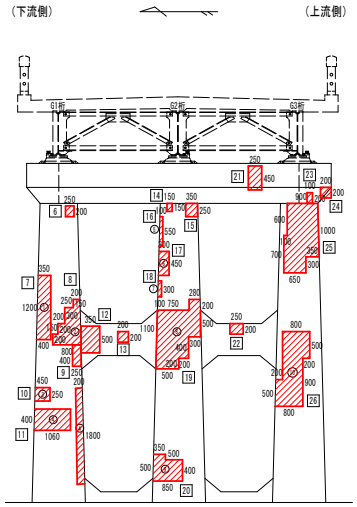


中間梁（下段）

A1側

（1径間）

正面図

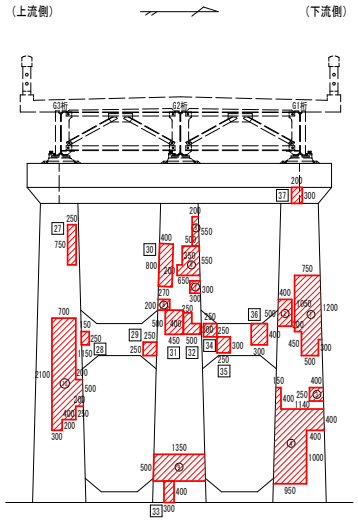


※両側の○内数字：損傷範囲として繋がっている

P2側

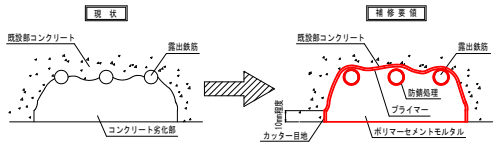
（2径間）

正面図



※両側の○内数字：損傷範囲として繋がっている

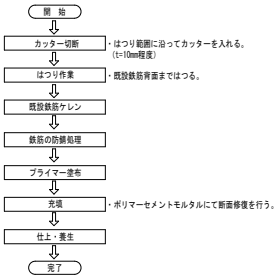
断面修復工概要図



※ハツリ深さは、かぶり、鉄筋径を考慮して5cmと仮定している。

※コンクリートのはつりは、フェザーエッジが生じないように、周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターで切断目地を入れ、入念に施工する。

断面修復工のフロー



断面修復工（左官工法）数量

ハツリ深さ：仮定値　t=50mm

番号	損傷の種類	寸法 (m)			面積 (m2)	体積 (m3)
1	うき	0.700	×	0.500	0.350	0.018
2	剥離・鉄筋露出、うき	0.550	×	1.150	0.633	0.022
		0.300	×	0.250	0.075	0.004
3	剥離	0.300	×	0.300	0.090	0.005
4	剥離・鉄筋露出	0.400	×	0.650	0.260	0.013
5	剥離・鉄筋露出	0.350	×	0.550	0.193	0.010
6	うき	0.200	×	0.250	0.050	0.003
7	剥離・鉄筋露出	1.200	×	0.400	0.480	0.024
		1.500	×	0.500	0.750	0.038
		1.050	×	0.200	0.210	0.011
8	剥離・鉄筋露出、うき	0.150	×	0.200	0.030	0.002
		0.300	×	0.450	0.135	0.007
		0.200	×	0.650	0.130	0.007
		0.200	×	0.800	0.160	0.008
		0.500	×	0.400	0.200	0.010
9	うき	0.400	×	0.250	0.100	0.005
10	剥離・鉄筋露出	0.250	×	0.850	0.213	0.011
11	剥離・鉄筋露出	0.400	×	0.150	0.060	0.003
		0.400	×	2.350	0.940	0.047
		1.000	×	0.950	0.950	0.048
		1.800	×	0.200	0.360	0.018
12	剥離・鉄筋露出	0.500	×	0.350	0.175	0.009
13	剥離・鉄筋露出	0.200	×	0.200	0.040	0.002
14	剥離・鉄筋露出	0.150	×	0.150	0.023	0.001
15	うき	0.250	×	0.350	0.088	0.004
16	うき	0.550	×	0.300	0.165	0.008
17	剥離・鉄筋露出	0.450	×	0.300	0.135	0.007
		0.550	×	0.500	0.275	0.014
		0.200	×	0.150	0.030	0.002
18	剥離・鉄筋露出	0.300	×	0.400	0.120	0.006
19	うき	0.200	×	0.550	0.110	0.006
		0.500	×	1.000	0.500	0.025
		0.400	×	0.700	0.280	0.014
		0.200	×	0.500	0.100	0.005
20	剥離・鉄筋露出	0.400	×	0.500	0.200	0.010
		0.500	×	1.700	0.850	0.043
21	剥離・鉄筋露出、うき	0.450	×	0.250	0.113	0.006
22	うき	0.200	×	0.250	0.050	0.003
23	遊離石灰	0.200	×	0.100	0.020	0.001
24	剥離・鉄筋露出	0.200	×	0.200	0.040	0.002
25	剥離・鉄筋露出、うき	0.600	×	0.900	0.540	0.027
		0.400	×	1.000	0.400	0.020
		0.300	×	0.650	0.195	0.010
26	剥離・鉄筋露出、うき	0.500	×	0.800	0.400	0.020
		0.400	×	0.600	0.240	0.012
		1.150	×	0.700	0.805	0.040
		0.500	×	1.700	0.850	0.043
		0.250	×	0.700	0.175	0.009
		0.200	×	0.300	0.060	0.003
27	うき	0.750	×	0.250	0.188	0.009
28	剥離・鉄筋露出	0.250	×	0.150	0.038	0.002
29	うき	0.250	×	0.250	0.063	0.003
30	うき	0.800	×	0.400	0.320	0.016
31	うき	0.500	×	0.450	0.225	0.011
32	剥離・鉄筋露出	0.400	×	0.250	0.100	0.005
		0.200	×	0.250	0.050	0.003
33	剥離・鉄筋露出	0.400	×	0.300	0.120	0.006
34	剥離・鉄筋露出	0.250	×	0.250	0.063	0.003
35	剥離・鉄筋露出	0.300	×	0.250	0.075	0.004
36	剥離・鉄筋露出	0.400	×	0.300	0.120	0.006
37	剥離・鉄筋露出	0.300	×	0.200	0.060	0.003
合計						0.747

凡　例

損傷の種類	表示
断面修復工（左官工法）	n

注）1. 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
2. 断面修復工のはつり深さは、現地調査を行い実施すること。
3. 鉄筋腐食状況をハツリ後に確認を行うこと。

［坂本橋］

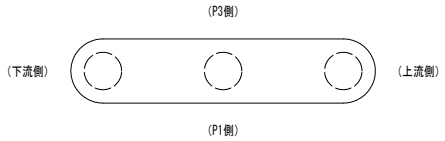
四　万　十　市			
工事種別	令和7年度　道メンテ　第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	下部工（その2）	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破　地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	11
事務所名	四万十市		20
会社名			

補修図：下部工（その3）

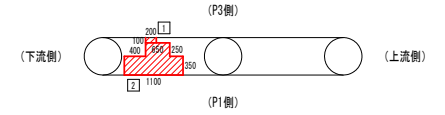
［断面修復工］

P2橋脚　S=1:50

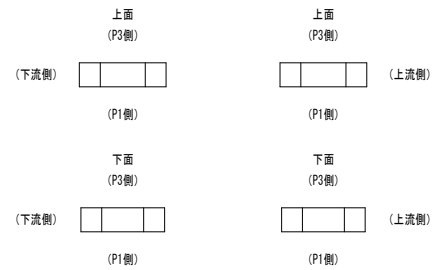
上部梁（上面）



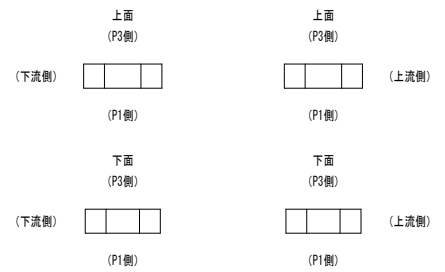
上部梁（下面）



中間梁（上段）

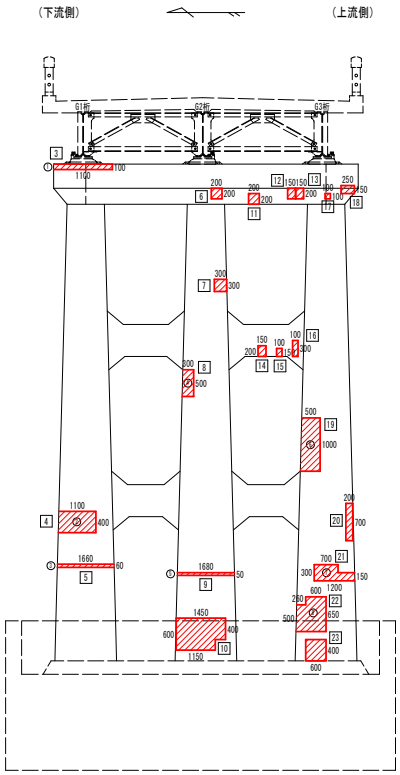


中間梁（下段）



P1側
(2径間)

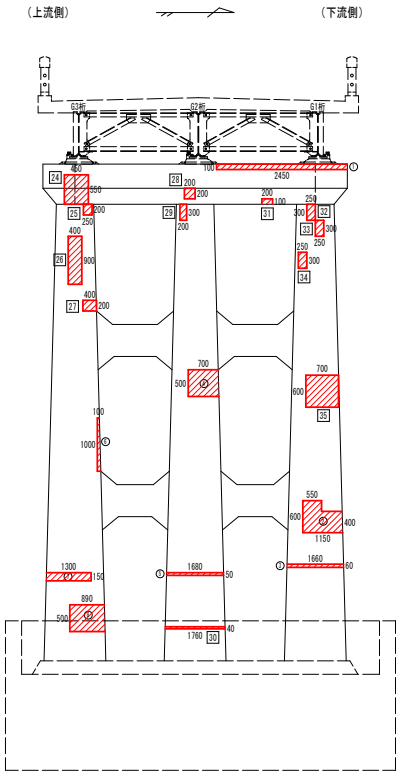
正面図



※両側の〇内数字：損傷範囲として繋がっている

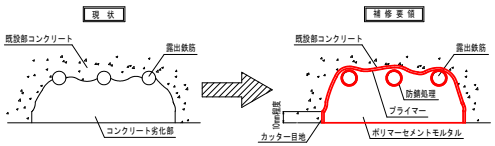
P3側
(3径間)

正面図



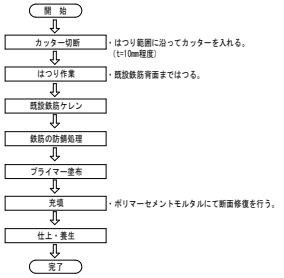
※両側の〇内数字：損傷範囲として繋がっている

断面修復工概要図



※ハツリ深さは、かぶり、鉄筋径を考慮して5cmと仮定している。
※コンクリートのはつりは、フェザーエッジが生じないように、周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターで切断目地を入れ、入念に施工する。

断面修復工のフロー



断面修復工（左官工法）数量

ハツリ深さ：仮定値　t=50mm

番号	損傷の種類	寸法 (m)			面積 (m2)	体積 (m3)
1	剥離・鉄筋露出	0.100	×	0.200	0.020	0.001
2	剥離・鉄筋露出	0.250	×	0.650	0.163	0.008
		0.350	×	1.100	0.385	0.019
3	剥離	0.100	×	3.550	0.355	0.018
4	ジャンカ	0.400	×	1.700	0.680	0.034
		0.600	×	0.550	0.330	0.017
5	ジャンカ	0.060	×	3.320	0.199	0.010
6	うき	0.200	×	0.200	0.040	0.002
7	うき	0.300	×	0.300	0.090	0.005
8	剥離・鉄筋露出	0.500	×	1.000	0.500	0.025
9	ジャンカ	0.050	×	3.360	0.168	0.008
10	ジャンカ	0.600	×	1.150	0.690	0.035
		0.400	×	0.300	0.120	0.006
11	剥離・鉄筋露出	0.200	×	0.200	0.040	0.002
12	うき	0.200	×	0.150	0.030	0.002
13	剥離・鉄筋露出	0.200	×	0.150	0.030	0.002
14	剥離・鉄筋露出	0.200	×	0.150	0.030	0.002
15	剥離・鉄筋露出	0.150	×	0.100	0.015	0.001
16	剥離・鉄筋露出	0.300	×	0.100	0.030	0.002
17	剥離・鉄筋露出	0.100	×	0.100	0.010	0.001
18	剥離・鉄筋露出	0.150	×	0.250	0.038	0.002
19	剥離・鉄筋露出	1.000	×	0.600	0.600	0.030
20	ジャンカ	0.700	×	0.200	0.140	0.007
21	ジャンカ	0.300	×	0.700	0.210	0.011
		0.150	×	1.800	0.270	0.014
22	ジャンカ	0.650	×	0.600	0.390	0.020
		0.500	×	1.150	0.575	0.029
23	ジャンカ	0.400	×	0.600	0.240	0.012
24	剥離・鉄筋露出	0.550	×	0.450	0.248	0.012
25	うき	0.200	×	0.250	0.050	0.003
26	うき	0.900	×	0.400	0.360	0.018
27	ジャンカ	0.200	×	0.400	0.080	0.004
28	うき	0.200	×	0.200	0.040	0.002
29	剥離・鉄筋露出	0.300	×	0.200	0.060	0.003
30	ジャンカ	0.040	×	1.760	0.070	0.004
31	剥離・鉄筋露出	0.100	×	0.200	0.020	0.001
32	うき	0.300	×	0.250	0.075	0.004
33	うき	0.300	×	0.250	0.075	0.004
34	うき	0.300	×	0.250	0.075	0.004
35	ジャンカ	0.600	×	0.700	0.420	0.021
合計						0.405

凡　例

損傷の種類	表 示
断面修復工（左官工法）	n

注）1. 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
2. 断面修復工のはつり深さは、現地調査を行い実施すること。
3. 鉄筋腐食状況をハツリ後に確認を行うこと。

［坂本橋］

四 万 十 市			
工事種別	令和7年度　道メンテ　第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	下部工（その3）	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破　地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	12 / 20
事務所名	四 万 十 市		
会社名			

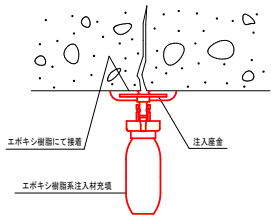
補修図：下部工（その4）

［断面修復工、ひびわれ注入工］

P3橋脚　S=1:50

ひびわれ注入工概要図

（可とう性エポキシ樹脂系注入材）



ひびわれ注入工のフロー

使用樹脂の主な品質規格

土木補修用エポキシ樹脂注入材（1種）

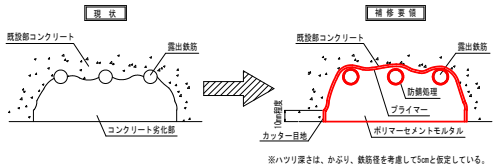
項　目		品質規格
粘度（mPa・s）		1000以下
可使時間（分）		30以上
硬化時間（時間）		16以内
硬化収縮（%）		0.1以下
伸び率（%）		—
モルタル付着強さ（N/mm2）	（乾燥面）	6以上
	（湿潤面）	3以上
付着力耐久性保持率（%）※1		60以上

参考「建設省総合技術開発プロジェクト　注入材と充填材の品質規格」
※1 屋根に対する割分率

ひびわれ注入工（低圧注入工法）数量

番号	幅（mm）	×	長さ（m）
①	0.400	×	0.90
②	0.300	×	0.50

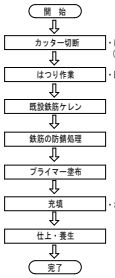
断面修復工概要図



※ハツリ深さは、かぶり、鉄筋径を考慮して5cmと仮定している。

※コンクリートのはつりは、フェザーエッジが生じないように、周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターで切断目地を入れ、入念に施工する。

断面修復工のフロー



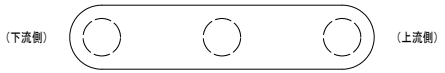
断面修復工（左官工法）数量

ハツリ深さ：仮定値　t=50mm

番号	損傷の種類	寸法（m）			面積（m2）	体積（m3）
1	剥離・鉄筋露出	0.550	×	0.200	0.110	0.006
		0.400	×	0.400	0.160	0.008
2	剥離・鉄筋露出	0.350	×	0.400	0.140	0.007
3	剥離・鉄筋露出	0.250	×	0.250	0.063	0.003
4	剥離・鉄筋露出	0.200	×	0.300	0.060	0.003
5	剥離・鉄筋露出	0.250	×	0.250	0.063	0.003
6	剥離・鉄筋露出	0.100	×	0.150	0.015	0.001
7	剥離・鉄筋露出	0.200	×	0.150	0.030	0.002
8	剥離・鉄筋露出	0.150	×	0.200	0.030	0.002
9	うき	0.400	×	0.400	0.160	0.008
10	剥離・鉄筋露出	0.400	×	0.500	0.200	0.010
11	剥離・鉄筋露出	0.400	×	0.150	0.060	0.003
12	うき	0.500	×	0.550	0.275	0.014
13	うき	0.500	×	0.250	0.125	0.006
14	剥離・鉄筋露出	0.300	×	0.200	0.060	0.003
15	うき	0.200	×	0.400	0.080	0.004
16	うき	1.100	×	0.450	0.495	0.025
17	うき	0.650	×	0.550	0.358	0.018
		0.300	×	0.250	0.075	0.004
18	うき	0.300	×	0.400	0.120	0.006
		0.500	×	0.350	0.175	0.009
19	ジャンカ	0.120	×	3.500	0.420	0.021
20	うき	0.250	×	0.300	0.075	0.004
		0.300	×	0.650	0.195	0.010
		(0.180+0.300)×0.100×0.5			0.024	0.001
21	うき	0.350	×	0.400	0.140	0.007
22	剥離・鉄筋露出、うき	0.150	×	0.700	0.105	0.005
		0.300	×	0.500	0.150	0.008
		0.200	×	0.400	0.080	0.004
23	うき	0.400	×	0.200	0.080	0.004
24	剥離・鉄筋露出、うき	0.300	×	0.350	0.105	0.005
		0.250	×	0.500	0.125	0.006
		0.350	×	0.700	0.245	0.012
		0.400	×	0.400	0.160	0.008
		1.700	×	0.300	0.510	0.026
		0.700	×	0.250	0.175	0.009
		0.400	×	0.150	0.060	0.003
25	ジャンカ	0.450	×	1.100	0.495	0.025
26	ジャンカ	0.030	×	3.500	0.105	0.005
27	剥離・鉄筋露出	0.200	×	0.100	0.020	0.001
28	うき	0.100	×	0.300	0.030	0.002
29	うき	0.200	×	0.350	0.070	0.004
30	うき	0.300	×	0.250	× 0.5	0.038	0.002
		0.450	×	0.300	0.135	0.007
31	うき	0.300	×	0.300	0.090	0.005
32	剥離・鉄筋露出、うき	0.250	×	0.550	0.138	0.007
33	うき	0.600	×	0.250	0.150	0.008
34	うき	0.350	×	0.200	0.070	0.004
35	剥離・鉄筋露出	0.150	×	0.150	0.023	0.001
36	剥離・鉄筋露出	0.150	×	0.150	0.023	0.001
37	剥離・鉄筋露出	0.200	×	0.300	0.060	0.003
		0.300	×	0.200	0.060	0.003
合計						0.356

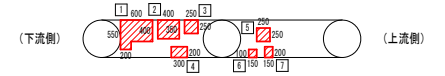
上部梁（上面）

（P4側）

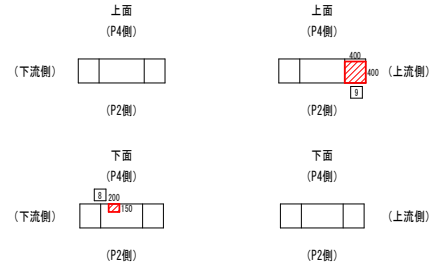


上部梁（下面）

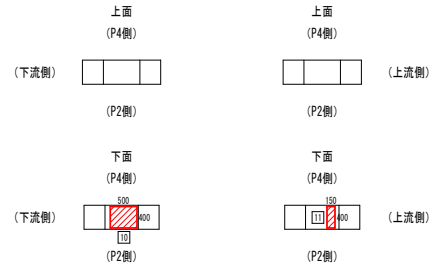
（P4側）



中間梁（上段）

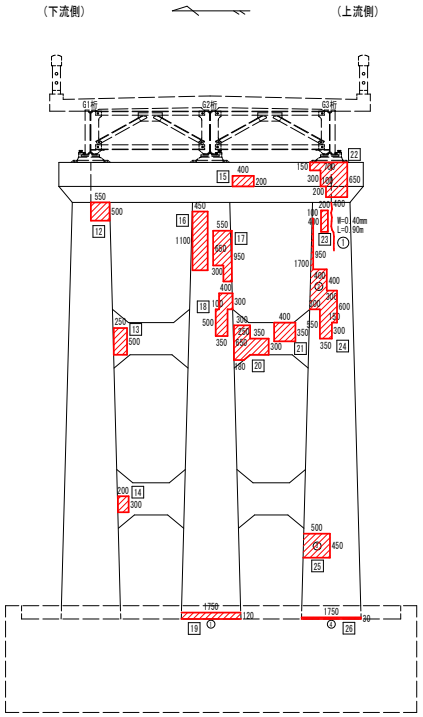


中間梁（下段）



P2側（3径間）

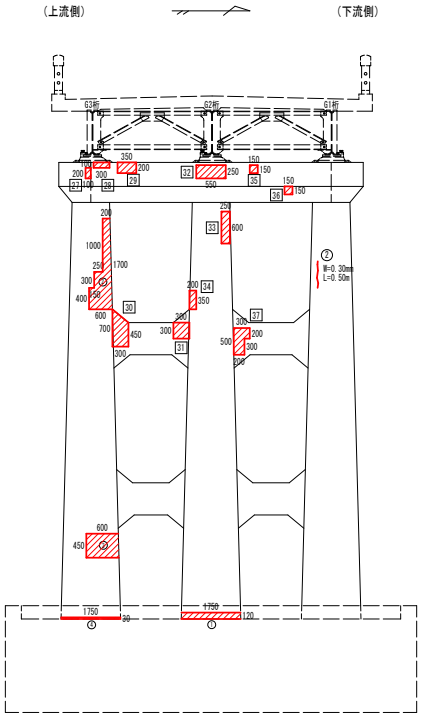
正面図



※両側の○内数字：損傷範囲として繋がっている

P4側（4径間）

正面図



※両側の○内数字：損傷範囲として繋がっている

凡　例

損傷の種類	表　示
断面修復工（左官工法）	n
ひびわれ注入（低圧注入工法）	n

注）1. 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
2. 断面修復工のはつり深さは、現地調査を行い実施すること。
3. 鉄筋腐食状況をハツリ後に確認を行うこと。

［坂本橋］

四　万　十　市			
工事種別	令和7年度　道メンテ　第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	下部工（その4）	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破　地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	13 / 20
事務所名	四　万　十　市		
会社名			

補修図：下部工（その5）

［断面修復工］

P4橋脚　S=1:50

上部梁（上面）

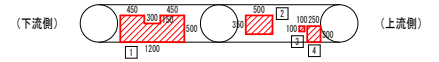
（A2側）

（下流側）　（上流側）

（P3側）

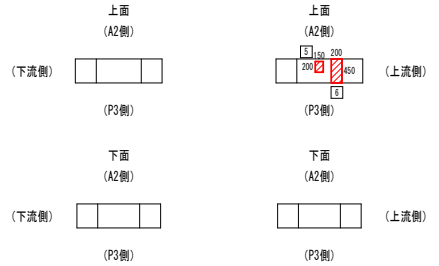
上部梁（下面）

（A2側）

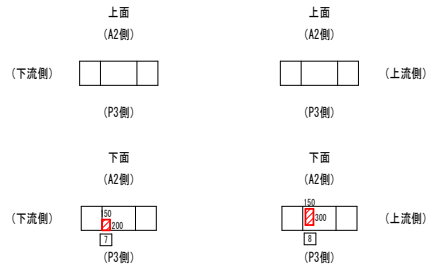


（P3側）

中間梁（上段）

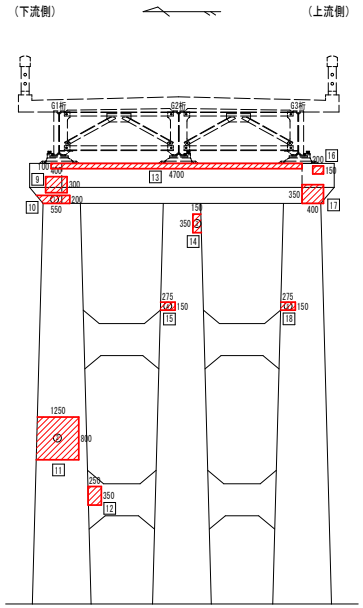


中間梁（下段）



P3側
（4径間）

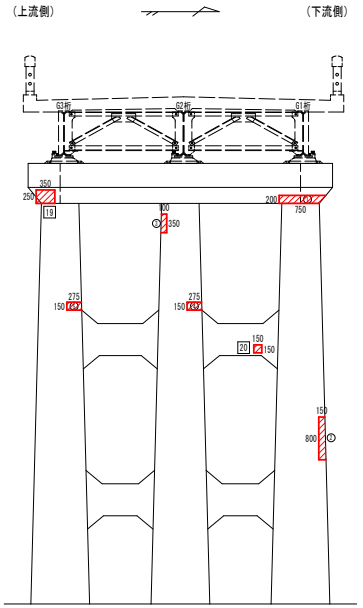
正面図



※両側の〇内数字：損傷範囲として繋がっている

A2側
（5径間）

正面図



※両側の〇内数字：損傷範囲として繋がっている

断面修復工（左官工法）数量

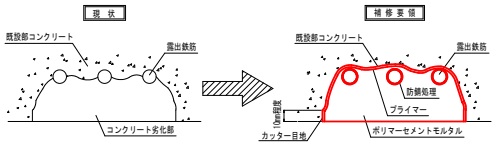
ハツリ深さ：仮定値　t=50mm

番号	損傷の種類	寸法 (m)			面積 (m2)	体積 (m3)
1	剥離・鉄筋露出	0.500	×	0.450	0.225	0.011
		0.350	×	0.300	0.105	0.005
		0.500	×	0.450	0.225	0.011
2	うき	0.350	×	0.500	0.175	0.009
3	剥離・鉄筋露出	0.100	×	0.100	0.010	0.001
4	うき	0.300	×	0.250	0.075	0.004
5	うき	0.200	×	0.150	0.030	0.002
6	剥離・鉄筋露出	0.450	×	0.200	0.090	0.005
7	剥離・鉄筋露出	0.200	×	0.150	0.030	0.002
8	剥離・鉄筋露出	0.300	×	0.150	0.045	0.002
9	うき	0.300	×	0.400	0.120	0.006
10	ジャンカ	0.200	×	1.300	0.260	0.013
11	ジャンカ	0.800	×	1.400	1.120	0.056
12	うき	0.350	×	0.250	0.088	0.004
13	剥離	0.100	×	4.700	0.470	0.024
14	剥離・鉄筋露出	0.350	×	0.250	0.088	0.004
15	ジャンカ	0.150	×	0.550	0.083	0.004
16	うき	0.150	×	0.200	0.030	0.002
17	うき	0.350	×	0.400	0.140	0.007
18	ジャンカ	0.150	×	0.550	0.083	0.004
19	うき	0.250	×	0.350	0.088	0.004
20	剥離・鉄筋露出	0.150	×	0.150	0.023	0.001
合計						0.181

凡　例

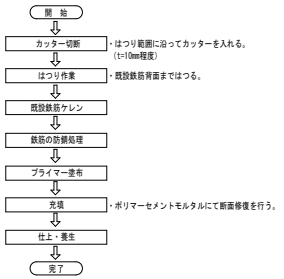
損傷の種類	表示
断面修復工（左官工法）	n

断面修復工概要図



※ハツリ深さは、かぶり、鉄筋径を考慮して5cmと仮定している。
※コンクリートのはつりは、フェザーエッジが生じないように、周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターで切断目地を入れ、入念に施工する。

断面修復工のフロー



注）1. 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
2. 断面修復工のはつり深さは、現地調査を行い実施すること。
3. 鉄筋腐食状況をハツリ後に確認を行うこと。

［坂本橋］

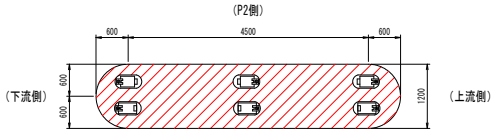
四万十市			
工事種別	令和7年度　道メンテ　第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	下部工（その5）	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破　地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	14
事務所名	四万十市		20
会社名			

補修図：下部工（その6）

［表面含浸工］

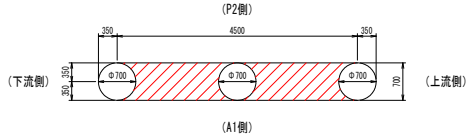
P1橋脚 S=1:50

上部梁（上面）

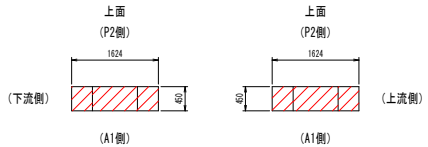


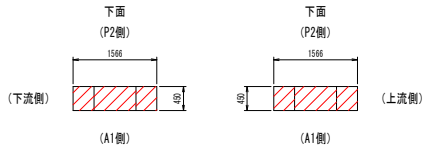
控除：支承 A=0.112㎡ × 6個
(CAD図より)

上部梁（下面）

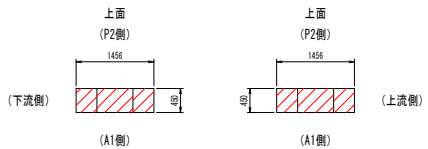


中間梁（上段）



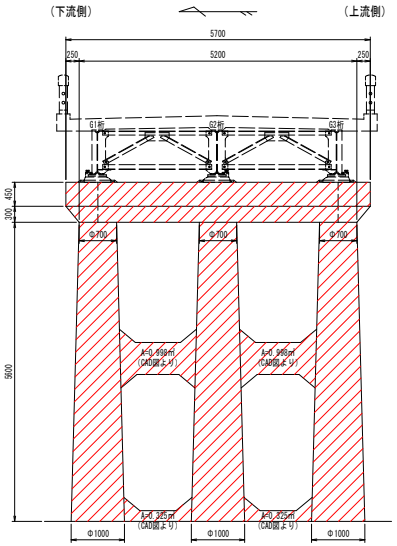


中間梁（下段）



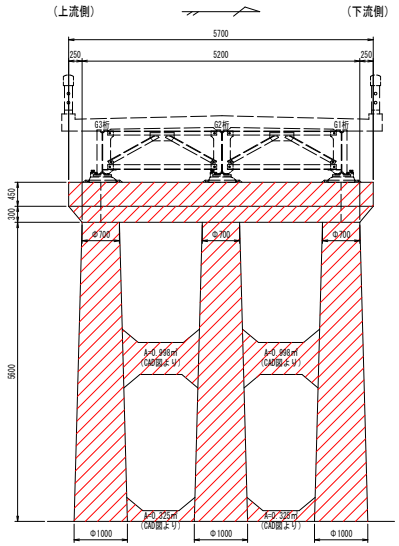
A1側
(1径間)

正面図

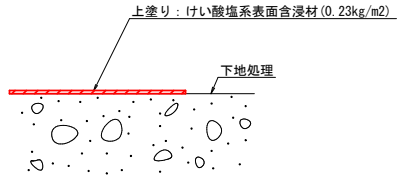


P2側
(2径間)

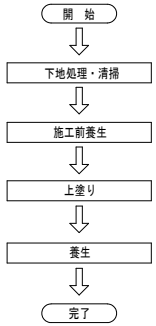
正面図



表面含浸工詳細図



表面含浸工のフロー



・高圧洗浄機などにより苔、汚れなどの除去を行う。

・コンクリート表面を湿潤状況及び湿り気を帯びた状態にする。

・ローラーもしくは噴霧機を用いて、施工箇所に塗布する。

・90分間湿潤状態(濡れ色)が保てるように適宜散水を行う。

表面含浸工（けい酸塩系表面含浸材）

表面含浸工数量表

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
下地処理		m2	71.0	
塗布面積	けい酸塩系表面含浸材	m2	71.0	
表面含浸材	標準使用量：0.23kg/m2	kg	16.3	

注）1.施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。

［坂本橋］

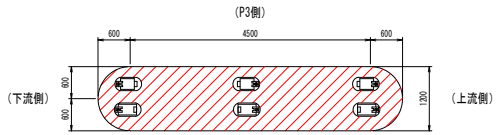
四 万 十 市			
工事種別	令和7年度 道メンテ 第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	下部工（その6）	縮 尺	図示
路 線 名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破 地内		
設計種別	実 施 設 計 図	図面番号	15
事務所名	四 万 十 市		20
会 社 名			

補修図：下部工（その7）

［表面含浸工］

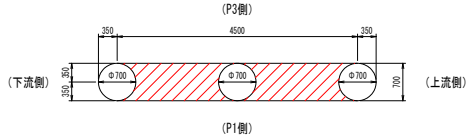
P2橋脚 S=1:50

上部梁（上面）

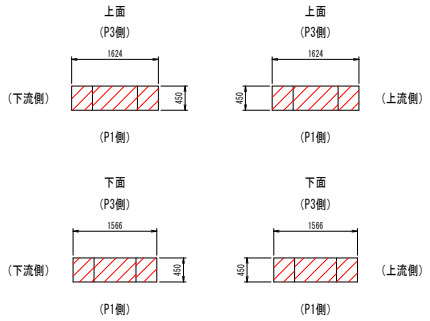


控除：支承 A=0.112㎡ × 6個
（CAD図より）

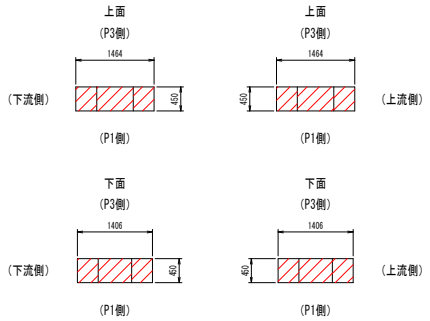
上部梁（下面）



中間梁（上段）

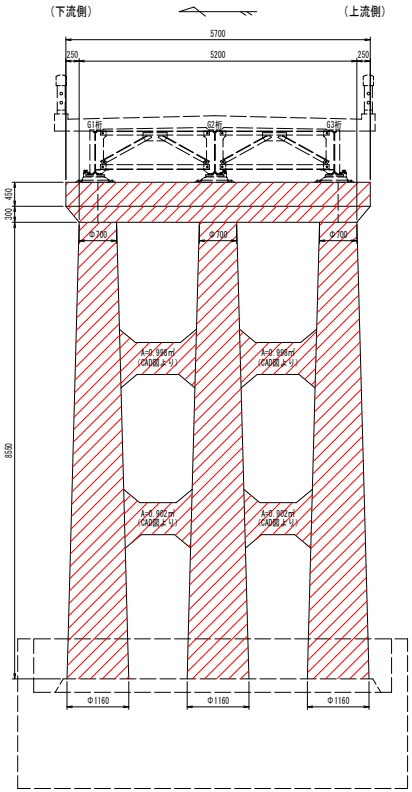


中間梁（下段）



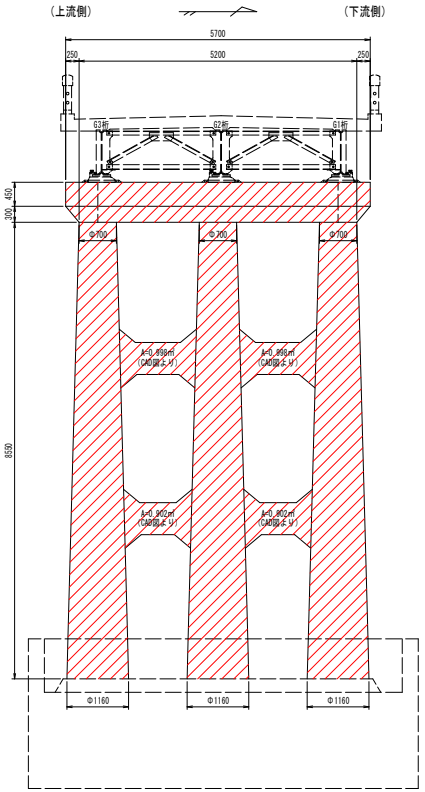
P1側
(2径間)

正面図

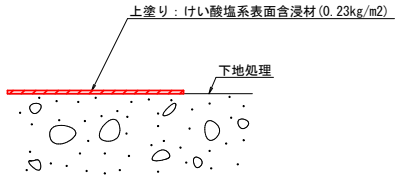


P3側
(3径間)

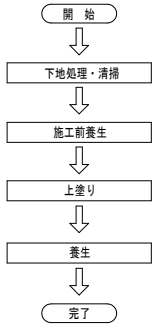
正面図



表面含浸工詳細図



表面含浸工のフロー



・高圧洗浄機などにより苔、汚れなどの除去を行う。

・コンクリート表面を湿潤状況及び湿り気を帯びた状態にする。

・ローラーもしくは噴霧機を用いて、施工箇所に塗布する。

・90分間湿潤状態(濡れ色)が保てるように適宜散水を行う。

表面含浸工（けい酸塩系表面含浸材）

表面含浸工数量表

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
下地処理		m2	104.6	
塗布面積	けい酸塩系表面含浸材	m2	104.6	
表面含浸材	標準使用量：0.23kg/m2	kg	24.1	

注）1.施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。

［坂本橋］

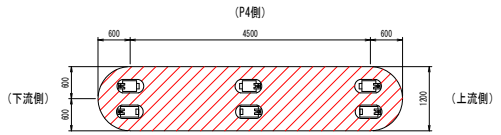
四 万 十 市			
工事種別	令和7年度 道メンテ 第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	下部工（その7）	縮 尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破 地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	16
事務所名	四 万 十 市		20
会社名			

補修図：下部工（その8）

［表面含浸工］

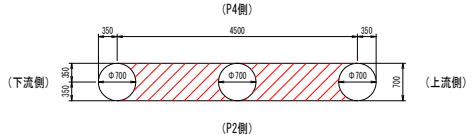
P3橋脚 S=1:50

上部梁（上面）

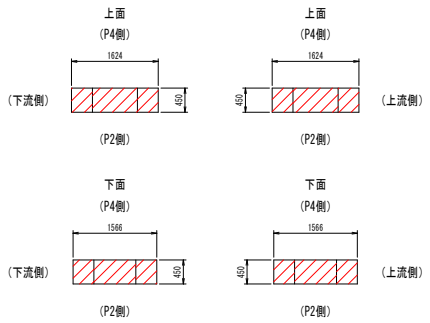


控除：支承 A=0.112㎡ × 6個
（CAD図より）

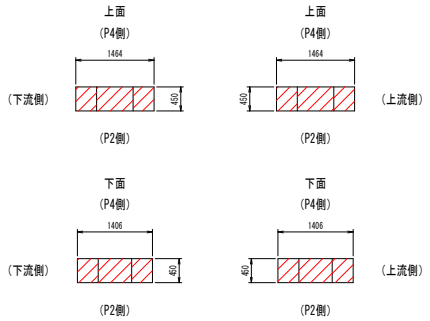
上部梁（下面）



中間梁（上段）

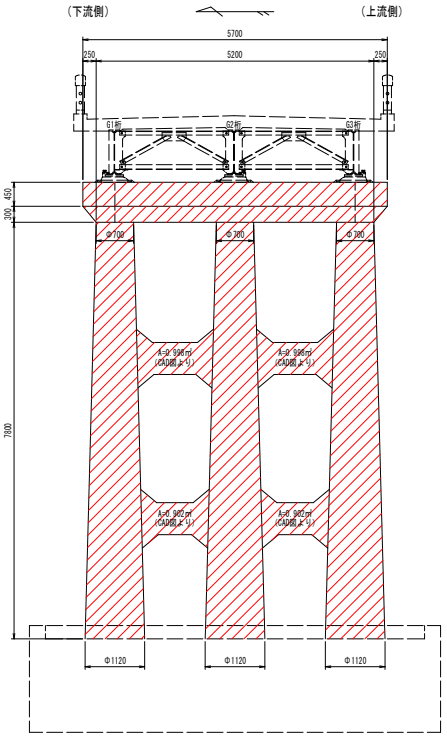


中間梁（下段）



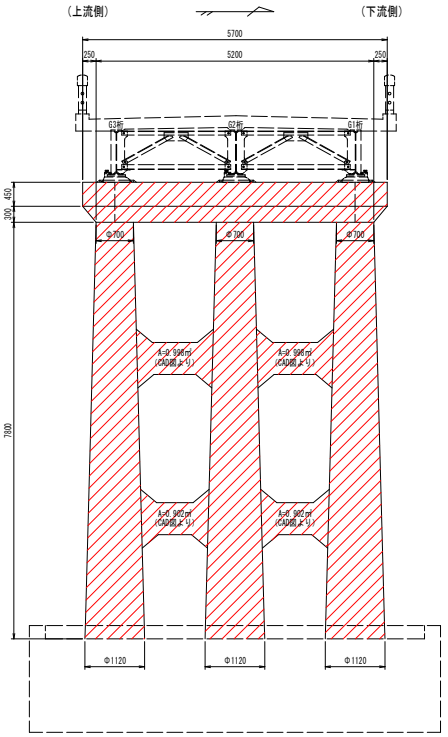
P2側
(3径間)

正面図



P4側
(4径間)

正面図

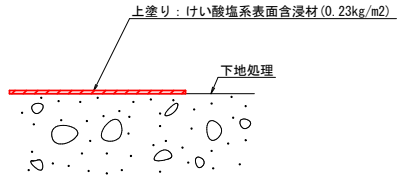


表面含浸工（けい酸塩系表面含浸材）

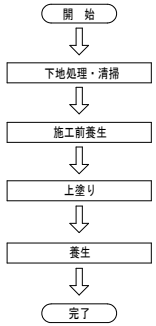
表面含浸工数量表

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
下地処理		m2	96.6	
塗布面積	けい酸塩系表面含浸材	m2	96.6	
表面含浸材	標準使用量：0.23kg/m2	kg	22.2	

表面含浸工詳細図



表面含浸工のフロー



・高圧洗浄機などにより苔、汚れなどの除去を行う。

・コンクリート表面を湿潤状況及び湿り気を帯びた状態にする。

・ローラーもしくは噴霧機を用いて、施工箇所に塗布する。

・90分間湿潤状態（濡れ色）が保てるように適宜散水を行う。

注）1.施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。

［坂本橋］

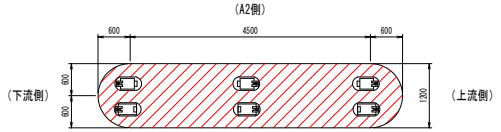
四　万　十　市			
工事種別	令和7年度　道メンテ　第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	下部工（その8）	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破　地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	17
事務所名	四万十市		20
会社名			

補修図：下部工（その9）

［表面含浸工］

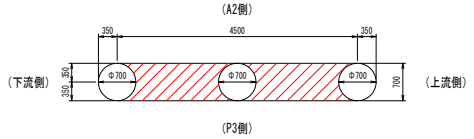
P4橋脚 S=1:50

上部梁（上面）

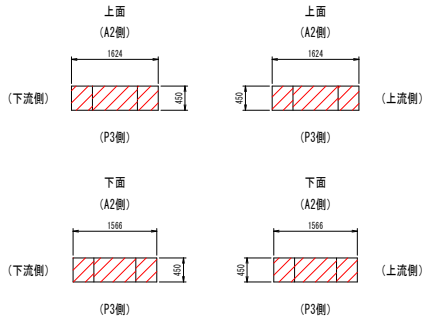


控除：支承 A=0.112㎡ × 6個
（CAD図より）

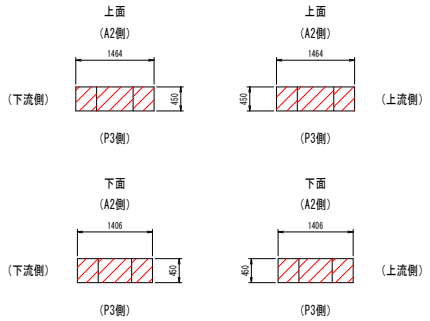
上部梁（下面）



中間梁（上段）

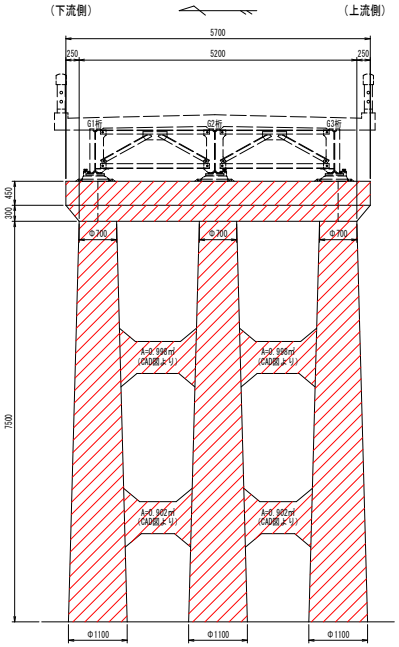


中間梁（下段）



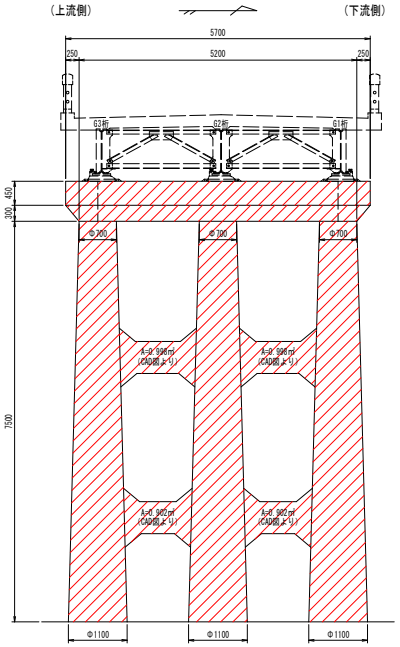
P3側
(4径間)

正面図



A2側
(5径間)

正面図

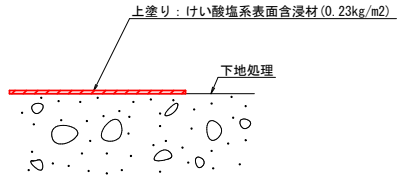


表面含浸工（けい酸塩系表面含浸材）

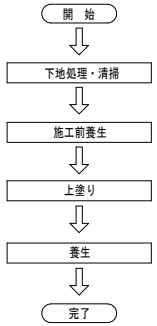
表面含浸工数量表

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
下地処理		m2	93.3	
塗布面積	けい酸塩系表面含浸材	m2	93.3	
表面含浸材	標準使用量：0.23kg/m2	kg	21.5	

表面含浸工詳細図



表面含浸工のフロー



・高圧洗浄機などにより苔、汚れなどの除去を行う。

・コンクリート表面を湿潤状況及び湿り気を帯びた状態にする。

・ローラーもしくは噴霧機を用いて、施工箇所に塗布する。

・90分間湿潤状態(濡れ色)が保てるように適宜散水を行う。

注）1.施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。

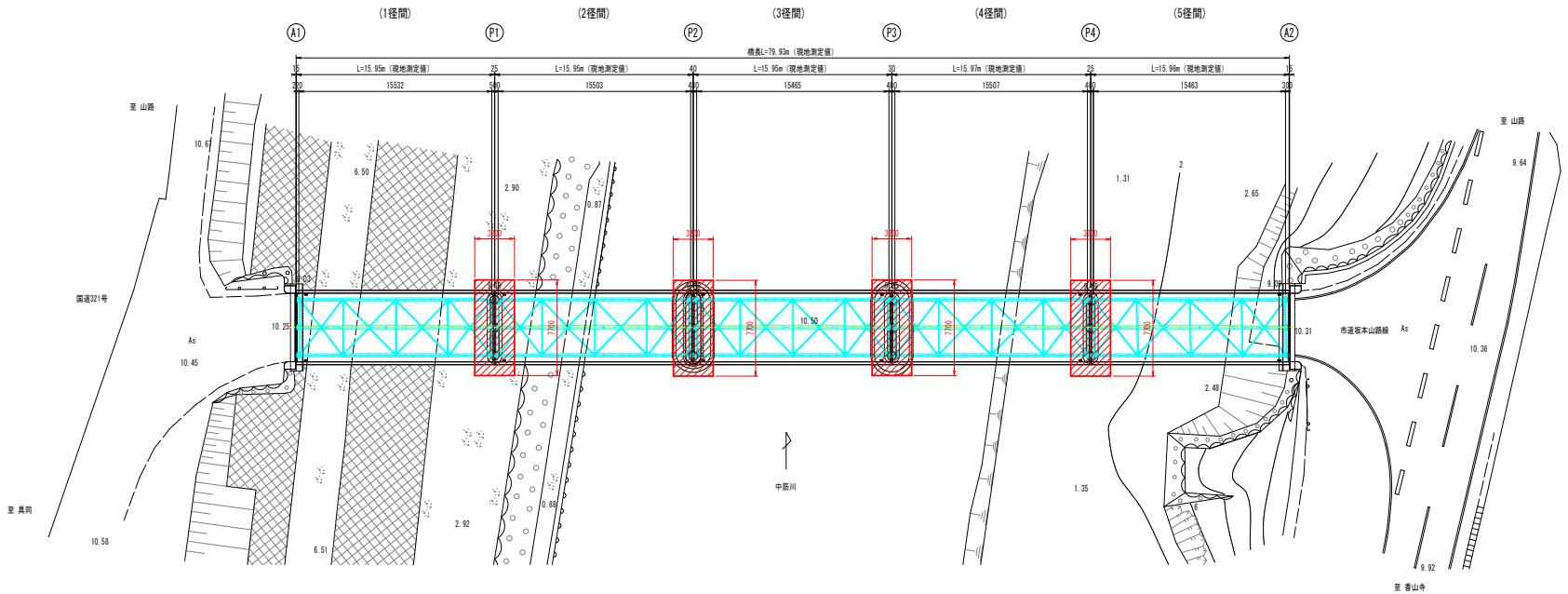
［坂本橋］

四　万　十　市			
工事種別	令和7年度　道メンテ　第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	下部工（その9）	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破　地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	18
事務所名	四万十市		20
会社名			

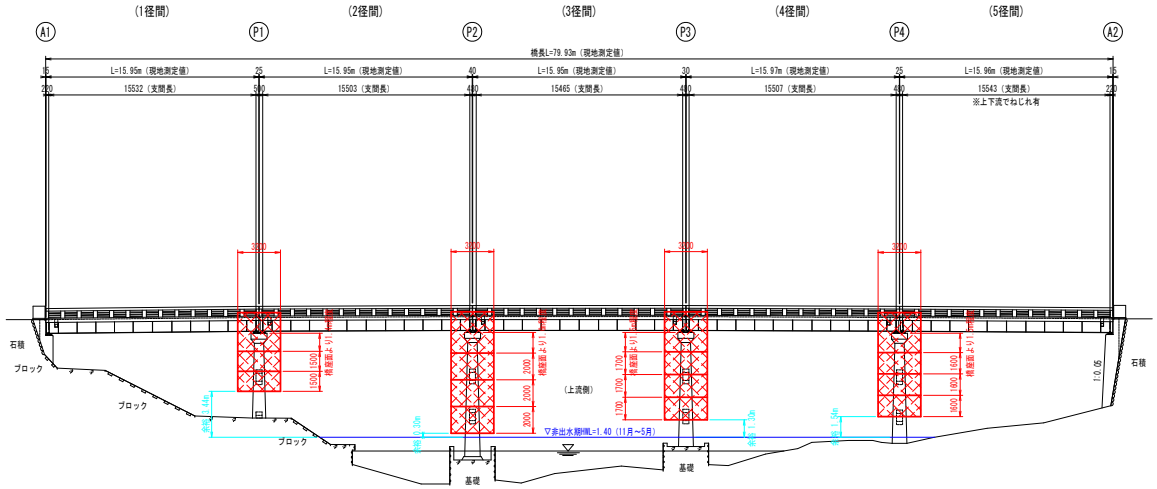
坂本橋：仮設計画図(1)（参考図）

［ 吊り足場 ］

平面図 S=1:200



側面図 S=1:200



仮設工数量表

名称	規格	単位	数量
足場工	橋脚周り足場、シート張防護	m2	276

注記）
- 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
- 施工計画の作業手順は参考手順であり、施工に際しては、発注者と協議の上、適宜決定すること。
- 本足場工図は参考図であり施工に際しては、資材割付け、強度計算等を実施し、発注者と協議の上、適宜決定すること。
- 河川管理者と協議の上、施工時期や仮設計画等、適宜決定すること。

参考図

※各寸法は現地測定値

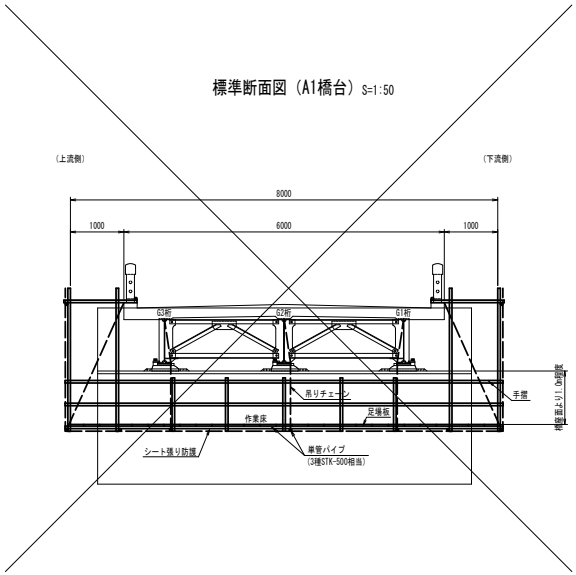
［坂本橋］

四 万 十 市			
工事種別	令和7年度 道メンテ 第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	仮設計画図(1)（参考図）	縮尺	図示
路線名	市道坂本山路線（坂本橋）		
工事箇所	四万十市不破 地内		
設計種別	実 施 設 計 図	図面番号	19
事務所名	四 万 十 市		20
会社名			

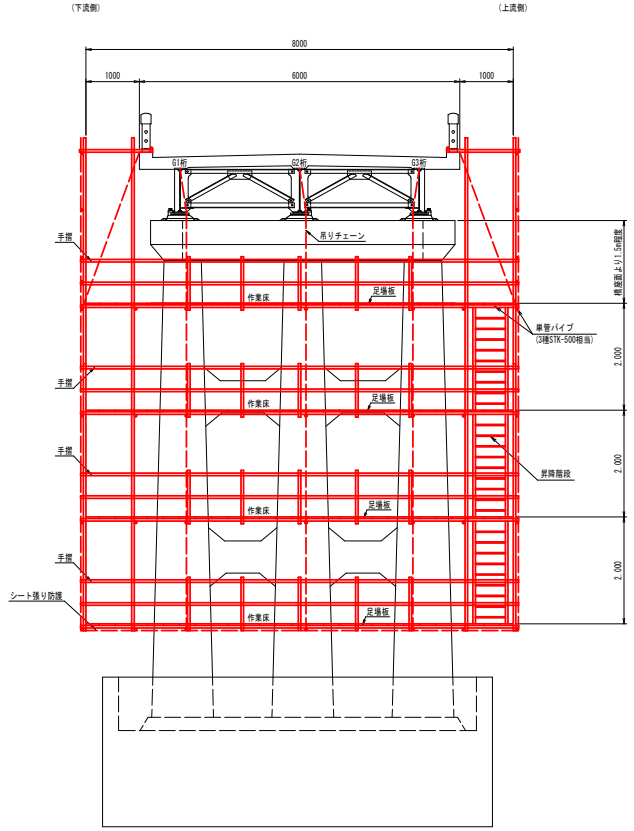
坂本橋：仮設計画図(2)（参考図）

［ 吊り足場 ］

標準断面図（A1橋台）S=1:50



標準断面図（P2橋脚）S=1:50



参 考 図

※各寸法は現地測定値

［坂本橋］

注記）
- 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
- 施工計画の作業手順は参考手順であり、施工に際しては、発注者と協議の上、適宜決定すること。
- 本足場工図は参考図であり施工に際しては、資材割付け、強度計算等を実施し、発注者と協議の上、適宜決定すること。
- 河川管理者と協議の上、施工時期や仮設計画等、適宜決定すること。

四 万 十 市			
工事種別	令和7年度 道メンテ 第1-6-1号 四万十市道路橋（坂本橋）橋梁修繕工事		
図面名称	仮設計画図（2）（参考図）	縮尺	図示
路線名	坂本橋（市道坂本山路線）		
工事箇所	四万十市不破 地内		
設計種別	実施設計図	図面番号	20
事務所名	四万十市		20
会社名			